



どうなる!?

介護保険制度

2000年4月に介護保険制度が施行され、その後、5年を目途にいろいろな改正が行われてきたが、2015年度の改正で大幅な見直しがなされた。神戸市では、2017年4月から予防給付(要支援1・2)の一部が国から市に移行される。この改正によって、事業所や利用者にとどのような影響があるのか。神戸YWCA まごの手所長・松田恵美子さんに聞いた。

今回の改正で大きく変わるところはどんな点ですか。

高齢者が住み慣れた地域で、能力に応じて自立した日常生活を継続できるように、介護・医療・介護予防・住まい及び日常生活の支援を、地域で包括的に行うことを目指して制度設計されました。大きくは、予防給付(要支援の認定を受けた人へのサービス)が市の総合事業(神戸市介護予防・日常生活支援事業)に移行する点です。

神戸市の総合事業とは、どんなものですか。

総合事業には、訪問型サービス、通所型サービス、一般介護予防事業があります。訪問型サービスには、現行相当の介護予防訪問サービスのほか、生活支援訪問サービスと住民主体訪問サービスが新たに創設されました。生活支援訪問サービスは、掃除・洗濯・調理・買い物・その他の身体介護を伴わない生活援助を行うサービスです。従事者の資格要件が緩和され、12時間の講習を受けるだけで、ヘルパー資格がなくても仕事につくことができます。事業所への報酬は、介護予防訪問サービスの8割となります。

生活支援訪問サービスの報酬が8割に減るということは、利用者負担額も減るといことですね。利用者にとっては、ありがたいことです。

そうですね。しかし、介護人材が不足しているうえに報酬が減るとなると、どれだけの介護事業所がサービスを提供できるのか、懸念されています。

サービスを受けたくても、受けられないという状況が起こるかもしれないということですか。それは困りますね。

本当に心配です。生活支援は大変重要です。これによって自立生活を維持することができ、重度化を防ぐことができます。サービスには専門的なケアの視点が重要です。誰でもできる、というものではありません。

一般介護予防事業とは、どんなサービスですか。

一般介護予防事業には、住民が主体となって運営する地域の居場所(サロン、カフェなど)、生きがい型デイサービスなどがあります。神戸YWCAでは、阪神淡路大震災後は地域福祉に力を入れ、すでに配食サービス、会食サービス、生きがい型デイサービスを行っています。坂口通にある神戸YWCA分室には毎日多くの人々が集い、ボランティアとして活動する地域福祉の拠点となっています。これらの活動は、今後ますます必要とされるでしょう。

どうすれば、一般介護予防事業を利用できますか。

まずは地域包括センター(あんしんすこやかセンター)に相談してください。原則65歳以上の方であれば、基本チェックリストで判定されたのち、ケアマネジメントに基づいてサービスを利用することができます。

今、介護予防サービスを受けておられる方は、今後どうなっていくのか心配ですね。

そうですね。今は移行期で、2017年3月31日時点で要支援認定を受けている方については、認定更新期限までは現在の利用サービスが継続されます。しかし、今後どうようになっていくか、注視していく必要があります。

現在、神戸市では65歳以上の高齢者が40.1万人。2025年には45.7万人になり、世帯主が65歳以上の2/3以上がひとり住まいか夫婦世帯になると予想されている。介護が必要になった場合に、自宅で介護を受けたいと希望している人は約4人中3人。2025年に向け、全国で在宅介護が必要な人は現在の320万人から、463万人になると言われている(*)。

高齢者世帯や高齢のひとり暮らし世帯が増加する中、介護サービスのニーズは高まる一方、介護人材の不足は深刻で、十分なサービスを受けることが難しい状況になっている。この制度改正では、地域全体で高齢者を支援することが期待されているが、果たして、サービスを担う人材の確保ができるのか、地域・介護・医療の連携がうまく機能するのかなど、課題は多い。

(文責 機関紙編集部)

*参考資料：国立社会保障人口問題研究所による推計値、内閣府高齢者の健康に関する意識調査、日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究

いま会いたい ☆ 私らしく生きる女性たち



桂 知秋さん

川島憲志さんを講師に迎え、神戸YWCAがこれから取り組むべき社会的課題を検討し、プログラムづくりを学んできた「新たな活動づくりワークショップ」では、「私らしく生きる」女性をゲストに迎え4回のトークイベントを開催することとなった。話を聞くだけでなく、参加者同士が積極的に

交流できるような運営につとめた。

第1回は11月26日(土)、「神戸で農家とレストランをつなぐ」をテーマに、「RIPPLE KOBE」事務局の桂知秋さんを迎え、生産者と消費者をつなぎ地域をデザインする熱い思いを聞いた。交流会では、野菜セットの販売とレストラン「ボナトリーチェ」に協力いただいたオードブル料理で、その取り組みを体感した。参加者のご厚意によりワインも提供された。参加者22人。

12月18日(土)の第2回は「ローカルでグローバルに生きる」と題し、姫路城に近い「ヒメジガハハゲストハウス」を切り盛りする松岡京子さんに、オープンのきっかけや悲喜こもごもの日常について話してもらった。シェアハウスを運営し、「ひめじ手づくりてんこもり市」を11年間主催するなど、国際的な視野で地域に根ざすパワーに圧倒された。韓国料理店での交流会は図らずも「女子会」となり、話が尽きなかった。参加者16人。

女性がよりエンパワーされ、社会やコミュニティに関わるきっかけとなるような出会いと学びの場となるよう願う。

第3回は井上保子さん(1月28日)、2月18日の第4回は羽田尚子さんを迎える。詳細は4面。(秋月 啓子)



松岡 京子さん

神戸YWCA クリスマス

12月3日(土)、神戸YWCA『聖句と賛美のクリスマス』の賛美礼拝が開かれた。美しい映像に導かれ、聖句の朗読と出席者一同の賛美が交互に進められ、心一つにイエス・キリストの誕生を祝う会になった。特に、今回は「賛美歌を歌おうかい」「カフェもぐもぐ」や、学院の「はっぴーすくーる」「外国語コース」など、日頃YWCAのプログラムに参加されている方々の出席があり、神戸YWCAのクリスマス会という想いが強く感じられた。参加人数35人。(野村 春美)

第58回 神戸市民クリスマス

今年は12月16日(金)、カトリック神戸中央教会で、「みんなで祝おうクリスマス」というテーマで開かれた。賛美礼拝で主イエスの御降誕を思い、共に喜びを分かち合った。その中で神戸YWCAも聖書朗読にたずさわった。

また、キャロリング参加者や来場者を温かい飲みものとお菓子で迎えるホットコーナーでは、カトリック社会活動神戸センターの皆さんによる心温まる豚汁も出され、祝された市民クリスマスであった。(モーア アン)

アドベントのアフタヌーンティー

12月6日(火)「平和を願いともに平和を祈る待降節」の集いをいたしました。

長内慶喜牧師(キリスト兄弟団神戸教会)に礼拝をお願いしました。「インマヌエル」ということは「神は我々と共におられる」という意味であると、力強いメッセージでした。佐伯かをるさんに聖フランシスコの「平和を求める祈り」を朗読していただきました。姫路教会の池内和子さん指揮によるアンサンブル詩音のコーラスで、高田三郎作曲「いつくしみと愛」「平和の祈り」、鈴木憲夫作曲「マザーテレサ愛の言葉」等々、平和の歌を沢山唄って頂き、心温まる集いでした。参加者は38人。(郡 あや子)



これは1970年代に行われていた、青年部聖書グループの合宿のようすです。いつも六甲山の保養所で、日曜の午後から始まり翌朝早く解散し、山から下りて職場に向かいました。毎回「自由について」などのテーマを決めて、メンバーの発題や顧問の笠原芳光先生の講義があり、そのあと名物のすき焼きで盛り上がり、夜遅くまで議論が続



きました。この頃は、月2回の例会(月曜夜に開催)も参加が多く活発でしたが、だんだん少なくなり、1983年にグループを閉じました。私は1971年に、この聖書グループで神戸YWCAと出会い、今日に至っています。

(三浦 啓子)

2016年度 クリスマス献金送付先

今年も多くの皆様がクリスマス献金をお捧げくださいました。感謝してご報告いたします。(キリスト教基盤部)

神戸の冬を支える会、W・Sひょうご、神戸いのちの電話、原爆の図丸木美術館、被災地NGO協働センター、釜ヶ崎喜望の家、吉田実牧師の活動「中国孤児援助」、日本YWCA東日本大震災被災者支援募金、日本YWCA災害時支援募金、日本YWCAピースメーカーズ募金、神戸YWCA保育園、神戸YWCA 以上12団体(敬称略)

❖ 地域のお店「くるくる」

分室に「くるくる」がオープン。毎月第3木曜、13時から15時30分。ステキな品物を見つける、ひと時に。

物を大切にし、丁寧に生活したいと思う。愛着のある衣服等を、誰かが着てくれたら、なんてステキだろうと持ち寄られた品物たちが、再び輝くように想いを少し加える、次に袖を通す人を想いながらお店をディスプレイする。準備には、親しまれた「ふるふる」のノウハウとフリーヘルプさんの力をお借りしている。

子どもや女性服、アクセサリーをお寄せください。そして、一緒にお店づくりをしてくださる方を大募集中。「くるくる」を地域のお店に、新たな居場所とするために。(小川 佐由理)

❖ 3市 YWCA 交流会

1月14日(土)の午後、大阪YWCAで手づくりの「お好み焼き」に舌鼓を打ち、3市YWCA(京都・大阪・神戸)交流会をもった。

今回は熊本地震に遭遇し、被災者支援にあたった、熊本学園大学福祉学部の学生3人(熊本YWCA会員)の体験報告であった。避難所となった大学で障がいのある方への直接的な助けをしたことであらためて「人の力、つながり、助け合いの温かさ」を学んだと言われた。

各YWCAからの支援物資は適切で、公的な支援以上に早かったようだ。顔の見える援助に感謝の言葉があった。

次回の3市Y交流会は拡大版として、7月15日(土)～16日(日)に「リーダーシップの要請を考える～3市YWCA合同合宿」をおこなう。場所は関西セミナーハウス(京都)。(鶴崎 祥子)

これからのセカンドハウス



2月の福島。福島の冬は美しいです！

神戸YWCA被災者支援プロジェクト

神戸YWCAは2011年から日本YWCAと協働してセカンドハウス・プログラム事務局を担ってきました。快く家を提供して下さった大家さんと、初めての地に飛び込んだ利用者さん。利用者総計は174家族・606人になります。事務局として多くの方との出会いを与えられ、感謝でした。

2017年から事務局は「カー口ふくしま」へ移ります。福島の方々の地元での働きが用いられるように祈ります。(西本 玲子)

神戸YWCA 春のランチオン

日頃より神戸YWCAに集われている皆さま、心を寄せてくださっている皆さまとの楽しいランチのひとつときを企画いたしました。お友だちを誘ってのご参加も大歓迎です。

日時：3月31日(金) 12:30～14:30

会場：神戸倶楽部(神戸市中央区北野町4-15-1)

参加費：10,000円 定員：30人

主催：理事会・ファンドレイジングチーム

*お早めに神戸YWCA 会館受付へお申し込みください。

*このイベントによる収益は神戸YWCAへの寄付とさせていただきます。



神戸YWCA 保育園 募金アート「まごころの木」

本館の1階ロビーに飾られている「まごころの木」は、神戸YWCA 保育園開設にあたり、心を寄せご寄付くださった皆さまの募金でひとつずつ作られていくアート作品です。さらに多くの皆さまのご支援で、来春にはこの木いっぱい花開くように、あなたの花・ハートを加えてください。目標達成のために、皆さまのさらなるご協力をお願いいたします。

(理事会・ファンドレイジングチーム)

募集期限：2017年3月31日(金)

*神戸YWCAへのご寄付は税額控除の対象になります。



まごころの木

～神戸YWCA保育園のために～

たてごと
Y W C A で日本語教師・職員として仕事がある限りできませんでした。そして、仕事を退き、Y W C A と関係がなくなると思いましたが、活動へ声をかけてくださり、また、Y W C A との関わりができました。それから、会員活動を始めて間もない私に、今度は、運営委員へのお誘いがあり、深く考えることもしないで引き受けました。引き受けて、何もわからないうことだらけの上、責任を強く感じ、後悔しました。しかし、ここまで来られたのは、ともに活動をしている仲間の優しい支えがあり、学ぶことが多かったからだと思っています。

もしY W C A との関わりが途絶えてしまったら、社会との繋がりが狭くなり、素敵な人との出会いもなく、日々の生活に追われ、なんとなく日常を送る自分を想像します。だから、仕事をしながらの活動は大変ですが、今こうして活動できることを感謝しています。運営委員になって、Y W C A の活動の意義や歴史をつくづく感じます。先輩たちも、Y W C A の活動の意義への想いを強く持ち、やって来られたのだと思うことがあります。時代が変われば、活動の在り方も変わらざるをえないでしょうが、大切にすることは何かを考えながら行ければと思います。(野村 春美)

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA **本館**：神戸市中央区二宮町1-12-10 tel. 078-231-6201
 神戸YWCA **分室**：神戸市中央区坂口通5-2-16 tel. 078-221-5111

●わいわい科学クラブ (小学生対象) 分室

2月18日(土)「カルメ焼きにチャレンジ！」
 ①10時～11時30分②13時～14時30分
 参加費 1回200円

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
 2月4日(土)・3月4日(土)10時30分～15時
 参加費 300円
 *昼食はカレーを作って食べます。
 (要予約、別途食材料代が必要)。

●Taste the World(世界の料理を食べよう！)

「台湾の客家文化を知ろう!!」 本館
 2月4日(土)14時～16時
 ゲスト 台湾客家人、李安琪(リ・アンチ)さん
 参加費 1,500円(軽食付き、大学生1,000円、
 中高生500円、小学生以下無料)

●いま会いたい、私らしく生きる女性たち 本館

『「だれの子どものころさせない」～思いひとつで
 つながろう～』
 2月18日(土)15時～17時
 ゲスト 羽田尚子さん(安保関連法に反対する
 ママと有志の会@兵庫)

第97回 神戸YWCA 定期会員集会

3月11日(土)
10時～15時

神戸YWCA 会館
5階チャペル

■ 理事会報告

12月7日(水)第5回理事会。次年度人事案について検討。1月11日(水)第4回まごの手未来プロジェクト。新しい総合事業への対応について協議。
 (総幹事・寺内 真子)

■ 賛助員

岩井 義矢 (敬称略)

■ 編集後記

アメリカの新大統領は就任演説で自国第一を連発。世界はどこにいくなかわからなく、不安で光が見えない年となりそうだ。
 (H・N)

寄付金控除に関する お知らせ

神戸市内にお住まいの方は、2016年1月1日以降の寄付金に対して住民税から控除が受けられるようになりました。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■ 運営委員会報告

12月【報告】▶全国会員総会▶フェス進捗▶「いま会いたい☆私らしく生きる女性たち」▶合同祈祷週▶神戸YWCAクリスマス【議事】▶2017年度神戸YWCAビジョン・活動目標▶2017年度バザー検討▶来年度計画検討(100周年記念事業準備会設置、組織改編、活動方針▶定期会員集会議案検討。1月【報告】▶指名委員会【議事】▶定期会員集会議案等検討(2017年度事業計画案確認、組織見直しのためのワークショップ、つながるプロジェクト、定期会員集会午後のプログラム意見交換)。
 (書記・野村 春美)

分室わいわいバザー！

日時 3月25日(土)12:00～15:00
 場所 神戸YWCA分室

「くるくる」が始まって3か月。ステキな洋服、アクセサリに加えて、今年も大人気のちらし寿司、カレー、焼菓子を販売します。お楽しみに！

食事で体力と抵抗力をつけるように心がけ活動しています。今年も、報告、連絡を密にして、

働くお母さんにとってもドキドキする季節です。しっかり手洗いするために、みんなで歌いながらゴシゴシしています。(園長・梅川 玲子)

■ 学院だより

1月17日(火)、神戸市シェイクアウト訓練に参加した。授業中に地震が起きた想定で、まず頭を守って姿勢を低く保ち、揺れが治まった後に建物外へ避難する練習をした。日本語コースの受講生の多くは地震のない国から来日しており、訓練も初めての人が多かった。「避難」など、災害時に特有の言葉も学んだ。

また、日本人も外国人に分かる「やさしい日本語(例：避難→にげて)」でコミュニケーションをとりましょう、という活動も進めている。2月には、神戸YWCA 近隣の若菜地区で、地域の方と地域在住外国人と一緒に防災訓練を実施する。(原田 雅子)

■ まごの手だより

昨年より新型インフルエンザ、ノロウイルスが流行し、まごの手の利用者の方も体調をくずされ、入退院が多くなっています。まごの手でも手洗い・うがいなどの予防習慣と十分な睡眠、バランスのよい

チームワークを良くして頑張っていきたいと思います。

4月から生活支援訪問サービスが始まります。ヘルパー資格のない方は神戸市のサービス従事者養成研修(2日間・12時間)の受講が必須です。関心のある方は、松田まで連絡ください。
 (所長・松田 恵美子)

■ 分室だより

わいわいランチ

ボランティア大募集中！

高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で生活し続けることができるように、「わいわいランチ」は手づくりのお弁当を配達し続けています(週5日/年間約6,000食)。ただいまボランティアを大募集中。ドライバーや車に同乗して配達する人も大歓迎。分室までお問い合わせください！
 (西本 玲子)

■ 保育園だより

感染症が流行り、小さい人の集まりである保育園では、毎日、ヒヤヒヤしながら子どもたちを迎え入れています。

世界祈禱日

「世界祈禱日」は毎年3月第1金曜日に、教派を超えて和解と平和を求める祈りの日として世界中で守られています。

日時 3月3日(金)13:30～15:30

主題 「わたしはあなたに不当なことをしているか？」
 ～フィリピンからのメッセージ～

司式者 小栗 献さん(神戸聖愛教会牧師)

会場 日本基督教団神戸聖愛教会(神戸市中央区生田町1-1-27)



ゴーフル®
 いいものは時代をこえて
 生き続けます

神戸風月堂
 本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
 URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭
 代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みくに
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます
 尼崎市潮江4丁目2-2
 URL: <http://sanosousai.com>